

## ストップ温暖化センターみやぎ 『通信』 Vol.38



### 環境教育体験研修 ～大自然の中で～



真っ暗なトンネルを抜けると、周りは山と川に囲まれた大自然…そんな場所にある岩手県葛巻町「森と風のがっこう」での環境教育体験研修に参加したのは、推進員森林グループのメンバー 10 名です。今回の研修では自然を舞台とした環境教育を学びました。

「森と風のがっこう」は廃校となった小学校を利用した、循環型の暮らしが体験できる施設です。コンポストトイレ（排泄物を堆肥化する）、バイオガス、他にも電気はソーラー発電、夕食にはレンガを積み上げたかまどに自分で割った薪をくべて手作りピザを焼くなど、自然エネルギーにたっぷり浸かりながらの研修となりました。

プログラムの1つ地球温暖化体験ゲームでは、まず「太陽」「地球」役各1名と「熱」「CO<sub>2</sub>」役各複数名に分かれました。そして「熱」は「太陽」から「地球」まで走り、Uターンして立ち上がる「CO<sub>2</sub>」の脇をすり抜けて突破しなければいけません。「CO<sub>2</sub>」が多いほど突破が難しく、熱は地球から出られないという温暖化の仕組みが体験できます。実際にやってみると全員笑顔で走る走る！「楽しみながらできる環境教育」を学んだ1コマです。また、実際のプログラムの様子をDVDを見て、参加した子ども達のはつらつとした表情と、楽しみながら体でエコライフを学んでいる様子が印象に残っています。

研修を終えた皆さんの感想を聞くと、「自分でもやってみようと思った」「プログラムに興味を持ってもらう工夫をしたい」と、意欲の表れを感じました。また「このプログラムを宮城での活動にどう活かすか」と早速実践へ向けての応用を考えている方もいました。きれいな空気、満天の星空の下で、学ぶだけではなく楽しさも忘れない環境教育の重要性を、肌で感じたようです。今後皆さんがどんな活動をされるのか、今から楽しみです。



元校舎前で記念撮影



窯もピザも手作りです



真剣な表情で話を聞く皆さん